



餅つき大会



今では薬師が丘の行事としてすっかり定着した餅つき大会は1月19日に行われました。これだけの行事をするためには、金曜日からの準備に入り、片づけがすべて終わるのは月曜日になるなど、関係者のご苦労は大変なものがありますが、当日はたくさんの人に来て頂き皆さんの疲れも吹っ飛んだようです。地域住民の交流の場としても大切なこのイベント、来年以降も継続され、より多くの人に参加されますよう関係者は期待しています。

薬師が丘

発行
薬師が丘連合町内会
広報委員会
発行人
薬師が丘連合町内会
会長・末田敏昭
編集責任者
薬師が丘連合町内会
広報部長
河原忠司

つれづれに 想うこと

行事部長 流郷 勝士

毎日、度々使うこと
もないが、それでも
持つていないと不便で
ある。それで古い携帯
電話を持つている。妻
のと同じくらい古い。
これで十分間に合っ
ている。

最近こんな旧型を
持つている人は少なく、
皆さんスマートフォンと
やらで、電話以外に、
いつでも、どこでも
手に持つて操作してい
る。「自分の時間は自
分の好きなように過ご
したい」との考えが増
えてきたのだと思う。
町内会で新聞を発行
したり、行事を企画し
実行したりするには多
勢の人たちのボラン
ティア活動が要る。つ
まり自分の時間を他人
のために提供すること

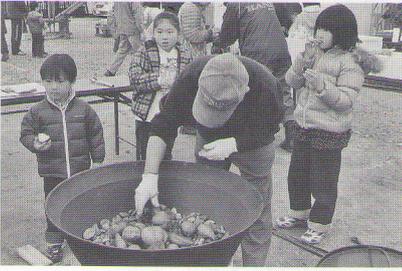
になる。

「他人のために動く
なんて馬鹿らしい、損
をするばかりだ」と
思っているのは地域のコ
ミュニティは築けない。
人は支え合って生きて
いる。

一月の餅つき大会で
石焼き芋を作っている。
今年も金時芋と安納芋
の二種類を準備した。
5月の植え付けから、
冬場の保存まで、かな
りの手間をかけている。
子どもたちを始め、皆
さんの「おいしいね」
のひとことや笑顔がう
れしいから。今回は奥
迫さんに特製の芋焼き
釜で手伝ってもらい大
盛況だった。
気持ちがあっても出
来ないことがある。加
齢とともに体力が落ち
法面の草刈機での作業
もきつくなつた。時々
腰をおろして一休みし
ないと続かない。
環境美化部も立派な

実績を残してきた。表
彰状ももらった。

今、数人の方たちが
道路端の清掃などをさ
れていますが、メン
バー全員での活動は休
止状態になっていま
す。ちよつとした糸の
れから折角の志ある
人々の集まりが休止
しているのは遺憾な
ことです。元メンバー
の一人として、活動が
全面的に復活すること
を望みます。いまま
数人で美化活動を
続けている人たちに
感謝したい。町内の
退職してか



ら時間の余裕のある方
や高齢者の中には様々
な才能の人材が埋もれ
ていると思います。立
派な経験や才能も埋も
れていてはもったいな
い。少しでも手を出し
てくださいます。少し
いんです。一人一人は
小さな力でも十人、
二十人と集まると大き
な力になります。薬師
が丘が元気になります。
ご本人もきつと楽しく
なります。

もちつき大会

五年 石地なな子

一月十九日(日)に
薬師が丘のもちつき大
会があり、私と母で行
きました。

最初に焼きいもを食
べました。一口目を食
べた時は、甘くておい
しかったです。二口目
を食べると、シャリッ
としたので「半焼きか
な」と思っておもしろ
い食感でした。次にぜ
んざいを食べました。
食べる時に、すわれる
席がなかったので私達
はすみで食べていたけ
ど、と中から「席があ
いたよ。すわって食べ
んさい」おばちゃん達
が言ってくれたので、
とてもうれしかったです



す。ぜんざいも、おも
ちとしるが合っていて、
とても体があたたか
くなりました。

最後に、もちをつく
場所があつたので「つ
こうかな。どうしよ
かな」と思ったけど、
少しはずかしかったの
で、つきませんでした。
でも来年もまた行きた
いです。

お世話してくださ
つたみなさん、ありが
とうございました。

もちつき

五年 山本 順也

一月十九日、薬師が
丘集会所で、毎年行わ
れるもちつきに行きま
した。もちをつくる
そのもちをまるめて、
ぜんざいとかんとん汁を
作る人、焼いもを焼い
ている人がたくさんい
て、とてもにぎやかで

した。子どももたくさ
ん来ていました。
ほくはまず手でもち
をつくるのをしました。
次に木で作られた大き
なもちをつく道具で、
きねを足でふむ体験を
しました。左足でふん
だけど、とても重かつ
たです。十回足でふん
だけどとてもつかれま
した。

ほくはとん汁を食べ、
妹はぜんざいをたべま
した。一緒に行つたお
ばあちゃんは、両方食
べました。とてもおい
しかったです。焼いも
は焼き立てで、とても
熱かつたけど、あまく
ておいしかったです。
そこにいた人がみんな
笑顔で楽しそうでした。
来年もまた行きたい
と思いました。



である。
 (ジーン・サラゼン)
 ミスショットの弁解は、貴方の友を苦しめるだけでなく、自分をも不幸にする。プレーは、結果によって考えず、原因で考えるのが上達の秘訣である。
 (ベン・ホーガン)
 先達の言葉は、意味深長ながら味わい深いものです、列挙すればきりがありません、こちらでお開きといたしましょう。 以上

「地域力」を高めよう

広報部

三面の表に見るように、薬師が丘連合町内会では多くの行事が行われていきます。夏の盆踊り、秋のまつり、冬の餅つき大会などは知らない人がいなくらい薬師が丘に浸透しています。また、ふれあいサロンの活動は地味ですが、多くの高齢者に支持されています。そのほかにそれぞれの単位町内会の活動もあります。また、薬師が丘には多くの同好会があり活発な活動をされています。

それら多くの活動は、それぞれの目的にそって行われていることですが、それらの活動すべてに薬師が丘の人がかかわり、お互いに協力してその目的達成のためにまい進されている姿を見ると、すべて

の活動は地域のコミュニケーションの活動ともいえます。地域住民の絆を深める活動だと言っても間違いありません。

私たちの日本人は3・11の大災害を見て、人と人の絆の大切さあらためて勉強しました。縁あってこの町に住むことになった住民一人ひとりが、平素から絆を深めておくことは、あつてはならない大災害の時ばかりでなく、私たちが求めている「安心・安全で明るい町づくり」に大きく寄与することは言うまでもないことです。

全国的に住民の町内会はなれが問題にされている昨今ですが、それでも私たち薬師が丘は、いわゆる振興団地として誕生以来おおく

の先輩たちの努力によつて、まとまりの良いい、住民活動の活発な団地と言う伝統が生まれ、現在もその伝統は脈々と息づいていると言えます。

これらの活動を支えてくださる人たちの年齢も高くなり、今後の活動については楽観を許さないものがあります。しかし、薬師が丘は高齢化してゆくだけの団地ではありません。若い世代の入居もあつて、子どもの数も増えています。盆踊りや秋祭りなどの活動で

は多くの若いお父さん、お母さんが参加され、その姿を見て高齢の役員さんは頼もしく感じています。現役世代の人には仕事もあり、町内会の活動に関与できる時間は限られてきますが、高齢者と若い人たちが協力する方法を模索すれば、地域の活動を続けてゆく方策は必ず見つかると考えています。

住民それぞれの活動とそれぞれの結びつき、それらの総和が地域力・「地域力」だと言えます。(文責河原)

皆様、ターゲット・バードゴルフ(以下TBGと称す)をご存知ですか。

ターゲット・バードゴルフは知っているけどTBGは知らないと言う方は多いと思います。

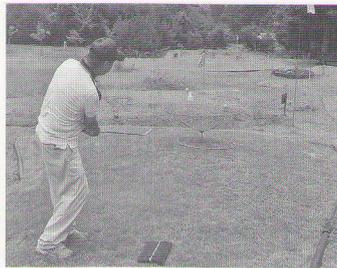
私は60歳を過ぎ、何か生涯スポーツを考えた時に出会ったのがTBGでした。

このスポーツは、埼玉県川口市在中の野嶋玉重さんが狭い場所でもゴルフが楽しめるかと思案し、1969

年(44年前)にアポロ11号が月面着陸した時の模様をヒントとなりバシッと発進しフワッと着陸するイメージが原型となり思考錯誤で今日のTBGが出来たとの事です。

ターゲット・バードゴルフのご紹介

三丁目 山田 悦次



1985年頃(28年前)に発表され、全国スポーツレクリエーション祭に参加してから急速に普及し始め、今では全国に常設コースも出来て遠くはブラジルサンパウロにも進出しています。

広島県では安芸高田市・世羅芦田湖・尾道市に常設コースもあり私が知っている限りでは5団体が活動をしています。しかしながら、このTBGは全国組織でありながらまだ進化の途中なので知らない人も多いのも事実です。

また、肝心な広島市内にはTBGの団体はありませんので、広島市内にもTBGを楽しみたいと考えています。

今年の11月24日に公認コース認定記念全国招待ターゲット・バードゴルフ大会が(世羅町TBG協会主催で世羅町芦田湖小谷コース)開催され、遠くは福井や京都・三重からも参加された総勢149名(内女性30名)の大会に私も参加しましたがOBの連発で多叩きの連続でしたが、メンバーに恵まれて楽しくプレーが出来ました。

ゴルフを行っている人・そうでない人・老若男女を問わず楽しめる安全なニュースポーツなので近くの公園や広場でもランドゴルフ同様に練習が出来ま

す。

ぜひ興味のある方は、山田に直接連絡を頂ければご説明をさせて頂きますし、TBGのホームページにアクセスして頂きますと詳しく紹介されています。

連絡先・山田悦次
 薬師が丘3丁目22-16
 TEL 082192818369
 ですので連絡をお待ちしています。

「なんとかしたい!」
 心配性の女性

「さざんかさんか咲いた道、たき火だたき火だ落葉焚き……」この時季になると、つい口づさんでしまします。

アレッ! どうしたのだろう? 団地の路肩に吹き寄せられた落葉が、今年は、これまでに多い。

ペットボトルも混じっている。ハンカチまでも、落葉と一緒に風に舞っている。昨年までは、車で通るたびに、何人かの人が、掃除して下さる姿を目にし、手を合わせ、頭を下げておりました。伝え聞くと、広島市